

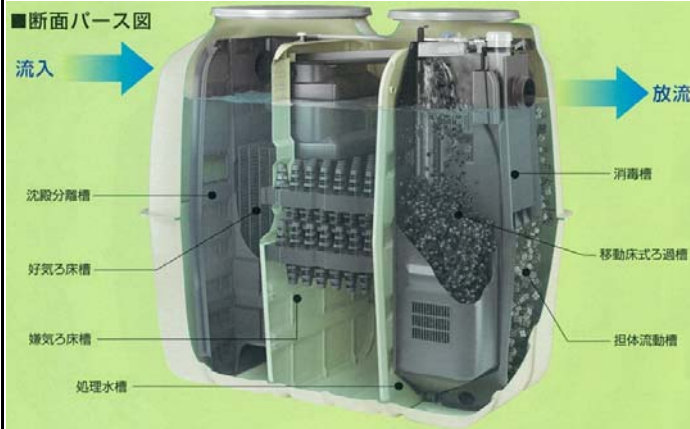
滋賀工場

1. 事業概要

住所	〒520-211 滋賀県湖南市高松町2番1
従業員数	60 (H27(2015).4.1現在)
敷地面積	本社工場:128,305m ² 飛地:51,577m ²
事業内容	1. 小型浄化槽、浴槽の開発・製造 2. 中・大型浄化槽の開発

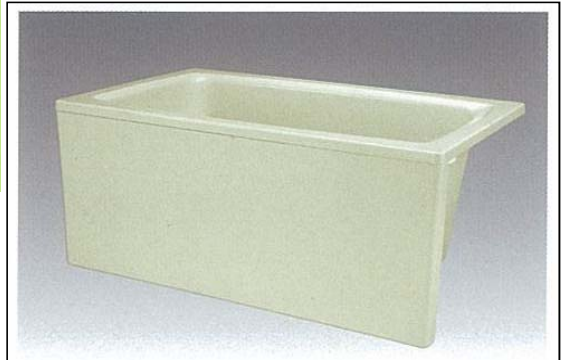


主要製品



【小型浄化槽：KZ型】

【FRP浴槽】



工場変遷 (沿革)

(設立年月日)

昭和45年	(1970)	工場完成 操業開始
昭和45年	(1970)	SMC法によるFRP浴槽の生産を開始
昭和46年	(1971)	SMC法によるプレス浄化槽の生産を開始
昭和48年	(1973)	カラーベスト工場を新設し生産を開始
昭和62年	(1987)	カラーベスト工場、新ラインを増設
平成 8年	(1996)	SMC法によるプレス小型合併処理浄化槽の生産開始
平成12年	(2000)	「ISO14001」の認証を取得
平成14年	(2002)	浄化槽製造における「ISO9001」の認証を取得
平成15年	(2003)	カラーベスト部門が松下電工と合併し、分社独立 (新会社名 クボタ松下電工外装株式会社 現:ケイミュー)

滋賀工場

2.環境方針

Kubota

KMEW

環境方針

滋賀工場は、下流に近畿の水脈・琵琶湖を控えた湖南工業団地に立地し、快適な住生活環境づくりを目指して、屋根材及び浄化槽・浴槽等の住宅関連製品を設計・生産している。

当工場は、企業の社会的責任として環境調和型創造企業を目指し、行動指針を以下の通り定め、地域・湖国及び地球の環境保全の向上に貢献する。

1. 製品の研究・開発や製造過程、並びに物流・品質クレーム対応等、“活動”、“製品” “サービス”を対象として次の課題に取り組む。
 - ①省エネルギーの推進
 - ②廃棄物の減量化並びに資源再利用の推進
 - ③水質・大気の排出管理の維持強化
 - ④環境影響の最小化を目指した製品開発 等
2. 継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
3. 環境関連法、条例、その他の要求事項を遵守する。
4. ISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステム構築により、環境の目的・目標を設定し、実行すると共に、定期的にレビューを行う。
5. 本方針は、文書等で「工場で働く人」全員に周知し、意識の高揚と確実な実行を図る。

平成27年 4月 1日

株式会社クボタ 滋賀工場長

福原 真一

ケイミュー株式会社 滋賀工場長

橋本 光比古

ISO認証取得状況

平成12年 5月 「ISO14001」認証取得

平成14年 5月 浄化槽・浴槽製造における「ISO9001」認証取得

滋賀工場

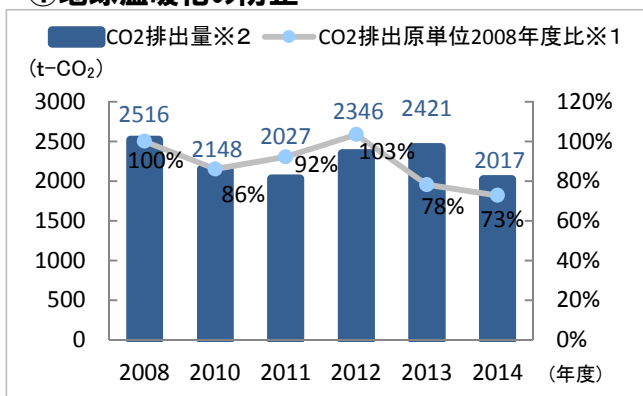
3.環境保全中期計画 目標及び実績

課題	取り込み項目	管理指標	基準年度	目標 2015年度 ^{※4}	2014年度	
					実績 ^{※4}	自己評価 ^{※5}
地球温暖化の防止	CO2の削減	CO2排出原単位 ^{※2}	2008	▲28%	▲27%	△
	省エネルギー	エネルギー使用原単位	2008	▲39%	▲38%	△
循環型社会の形成	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位	2008	▲70%	▲69%	△
		再資源化率 ^{※3}	-	99.5%以上	98.9%	△
	水資源の節約	水使用原単位	2008	▲58%	▲57%	△
化学物質の管理	VOC ^{※1} の削減	VOC排出原単位	2008	▲29%	▲28%	△

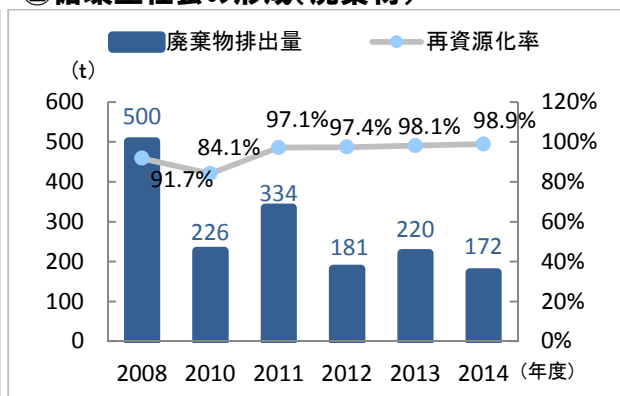
- ※1 VOC(揮発性有機化合物)は、排出量に占める割合が大きい、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています。
- ※2 CO2排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は基準年度の値を使用します。
- ※3 再資源化率(%) = (有価物売却量 + 社外再資源化量) ÷ (有価物売却量 + 社外再資源化量 + 埋立量) × 100
社外再資源化量には熱回収量を含みます。
- ※4 ▲は「マイナス」を意味します。
- ※5 自己評価の基準 ○目標超過達成(目標を20%以上超過している場合) ○目標達成 △現状では未達成

4.環境パフォーマンス

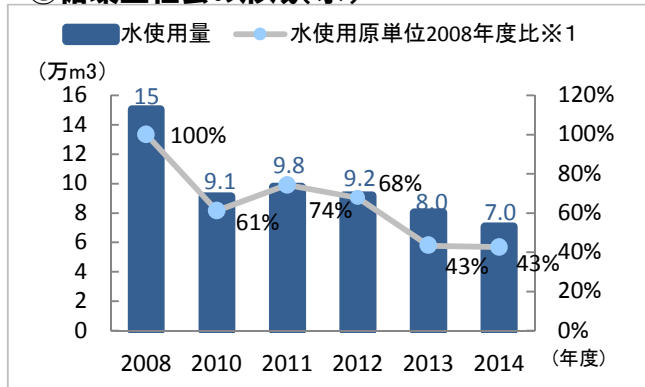
①地球温暖化の防止



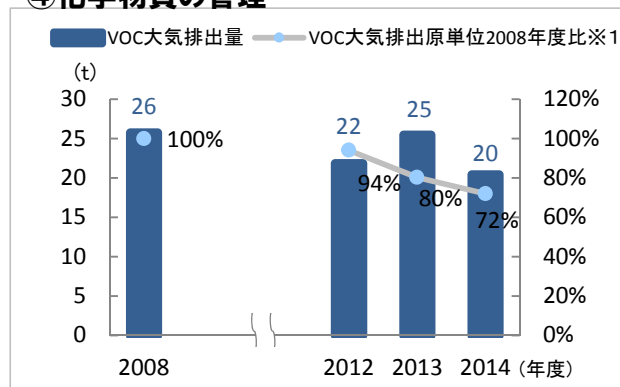
②循環型社会の形成(廃棄物)



③循環型社会の形成(水)



④化学物質の管理



- ※1 原単位2008年度比:2008年度の内作生産金額ベースの原単位を100とした場合の割合
- ※2 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

滋賀工場

4.環境パフォーマンス(つづき)

PRTR法対象物質の排出量・移動量の削減(2014年度)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
053	エチルベンゼン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20
080	キシレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69
240	スチレン	20000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
354	フタル酸ジ-n-ブチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40

5.環境トピックス

- ① 蒸気漏れ修理、タイマー活用による金型蒸気予熱ロス低減、SMC蒸気温調養生の土曜日運用停止などの活動で、蒸気使用量原単位は2012年比49%向上を達成。
- ② 2500Tプレスサイクルアップ対策で省エネ推進中。
- ③ 中型浄化槽組立で不要機器撤去、ベビコン使用で生産で省エネ推進中。
- ④ 浄化槽本体槽不良率0.07%(目標0.40%)を達成。

6.環境コミュニケーション

地域美化活動

クボタeデー 2014.10.25 参加者48名

茶釜川周辺のゴミ拾いを行った。



滋賀工場

7. サイトデータ

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	1016
水使用量	万m ³	7.0

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2017
----------------------------	-------------------	------

	主要ばい煙発生施設		ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
排出ガス	SOx	総量規制・K値規制 ともにm ³ N/h	※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
	NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm	濃度規制	180	30
	ばいじん	g/m ³ N	-	-	-

排水量	公共用水域 万m ³ /年	2.4	
	下水道 万m ³ /年	0.4	
汚濁負荷量	COD	kg/年	-
	窒素	kg/年	-
	りん	kg/年	-

	放流先	項目	単位	排水口名	
				規制値	測定値
排水	公共用水域	pH	最小値, 最大値	6.0~8.5	7.6, 7.7
		BOD	mg/l	30	1
		COD	mg/l	30	2
		窒素	mg/l	12	0.6
		りん	mg/l	1.2	0.5
		六価クロム	mg/l	0.05	0
		鉛	mg/l	0.1	0
		COD総量規制値	kg/日	-	-
		窒素総量規制値	kg/日	-	-
		りん総量規制値	kg/日	-	-
	下水道	pH	最小値, 最大値	-	-
		BOD	mg/l	-	-
		COD	mg/l	-	-
		SS	mg/l	-	-

廃棄物排出量	t	172
再資源化率	%	98.9%